

法政大学第一高等学校同窓会報

本会は会員相互の親睦をはかり、互助の実をあげると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。
(規約第2条)

発行人 大石勝康 (同窓会会長) 2006年(平成18年)4月24日(月) [発行] 第31号 (題字は森田勉校長)
 編集人 斎藤利彦 (同窓会副会長) <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~Hosei10B/> Tel 0422-20-8151
 発行所 法政大学第一高等学校同窓会 〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 Fax 0422-20-8170
 印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場 発送管理 コミナミ印刷株式会社



新しい時代の始まり 魅力ある学園づくり

同窓会会長 大石 勝康

二〇〇六年四月、新年度を迎え会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

我が法政大学第一中・高等学校は今年創立七〇周年を迎えます。そして、二〇〇七年四月には三鷹市の「井の頭公園キャン

パス」へ全面移転することになり、新しい教育プログラムと教員組織構想の下に、新築工事に着手しております。

これを契機に法政大学の付属校としては初の男女共学校に生まれ変わります。校名も「法政大学中学高等学校」となり大きく飛躍

を図ります。

緑に恵まれた素晴らしい自然環境を活かした新校地の施設・設備の中で、ダイナミックな教育を実現できます。まさしく何もかもが新しくなります。

新教育プログラムにおいても、中学三年・高校三年の「3・3」制から新プログラム「2・2・1」制を導入し、「2・2」は基礎学力の習得、「1・1」は高校・大学連携プログラムを実現する。これにより、スムーズな大学教育への橋渡しが可能となる計画であります。

また、「①英語力と国際性 ②行動力 ③探求心 ④知的創造力 ⑤自己表現力 ⑥コミュニケーション力」



ニケーション能力 ⑦豊かな感性」の「七つの能力」の涵養を目指している。

人間社会のモラルを大切にし、人間として必要不可欠な資質を養成することであります。

国際性を高めるためのプログラムとして、中学で短期海外研修、高校で高度教育インターナショナル・プログラム、夏季に短期海外研修を行う。複数の語学研修の留学システムも用意しております。

そして、魅力ある学校を実現するために、安全で人や環境にやさしい学園の運営、充実した課外活動による生徒相互の切磋琢磨などにも力を入れるのは当然であります。

何よりも、中高一貫校の利点を伸ばし、大学付属校としてさまざまな推薦制度を活用できる進路指導を行い、生徒の将来設計を乗り切れることになり豊かなものとするようになります。また、新たに創立七〇周年記念奨学金制度が予定されております。(以上担当の堀江常務理事談)

なお、今回の移転に伴い同封の「創立七〇周年記念募金」をお願いいたしております。

ります。同窓諸先輩の皆様の一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

また、同窓会の今後の運営につきましては、地道に次の諸事項の遂行を図ってまいります。

一、組織の強化
（会員の掘り起こしと住所の解明）

二、会費の徴収
やご寄付による財務の安定化
（会費お振込みの際五千円、壹万円のご寄付を頂き感謝申し上げます）

三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実
（小人数の会合でも結構です、ご寄稿ください）

今後同窓会の発展に努力を重ねてまいります。

会員の皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

平成17年度事業報告書

総務委員長 室山 肇

(平成17年)

- 4.06 法政大学第一中・高等学校入学式に同窓会役員参列。
- 4.10 「同窓会総会」が法政大学ボアソナードタワー26階スカイホールにて行われた。議案等全て承認。
- 4.23 明治神宮球場の東京六大学野球で法政大学の応援に一中・高生・同窓会役員が参加。
- 4.25 新校舎移転、建設と募金の件で森田校長と大石会長・鈴木副会長が面談。
- 4.30 学校移転先を視察その後、校長と役員16名が会議。
- 5.28 教養文化講座開校式、講演は新人間国宝、鶴賀若狭掾氏、同氏を同窓会名誉会員に推薦。
- 6.04 「PTAOB会創立25周年記念の集い」が学校記念館にて行われ、式典後懇親会が行われた。同窓会役員参加。
- 6.09 名簿編纂委員による住所不明者・判明者・永眠者のデータ整理・役員会も開催。
- 6.18 法政大学校友連合会「代議委員会議」1時から赤坂プリンスホテルにて行われた。
- 8.02 ホームページ更新を新任役員の川窪裕和氏に依頼。

(平成18年)

- 1.16 法政一高合同新年会(学校・PTA・PTAOB会・同窓会)がボアソナードタワー25階スタッフルームにて行われ、23名参加。
- 1.29 第3代同窓会会長松本一磨氏永眠(17年12月28日)葬儀に役員が参列。
- 2.18 「第21回付属校同窓会役員懇親会」に13名参加、第2工業高校主催、川崎駅BE・カメラアホールにて総勢73名。次回は法政一高が幹事校。
- 2.25 法政大学校友連合会「新春の集い」に出席、ホテルオークラ「芙蓉の間」。
- 3.08 新卒業者のクラス委員に同窓会の有り方・協力方を説明。
- 3.09 法政大学第一高等学校卒業式、体育館にて7名参列。記念品にボールペンを贈る。
- 3.18 法政大学第一中学校卒業式、記念館にて3名参列。

平成18年度収支 予算会議開催

平成18年3月8日法政一高記念会館会議室に於いて、平成17年度収支決算及び平成18年度予算案について財務委員会の主催により予算会議が開催されました。

平成19年4月には三鷹市への校舎移転も含めて、同窓会事務局の改革や引越費用等、従来予算より特別な支出が予想される等、各委員から活発な予算説明が述べられ、議論されました。

尚平成17年度新入会員より学校・PTAの多大なご理解を頂き、入会金を五千元アップして頂き誠にありがとうございます。

従来の緊縮財政に若干のプラスとなりましたが、会報発行をはじめ活動費はギリギリの収支であります。

既会員の確実な会費納入を宜しくお願い致します。

(出席者)

大石会長
鈴木副会長
斉藤副会長
手塚広報委員長
赤沼名簿編纂委員長
榎原財務委員長
相川財務副委員長

佐藤副会長
岩村副会長

「あいさつ」

一中・高校長 森田 勉



同窓生の皆様には、常日頃、学校に対し多大なご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。昨年の会報では、私の大きな夢は、創立七十五周年(二〇一一年)を新校舎で迎えることである、と書きました。その夢がまさしく正夢になろうとしております。すでにお聞き及びと思いますが、二〇〇七年四月に、本校は、三鷹市・井の頭公園の南に移転いたしました(工事の関係で体育施設は同年八月竣工予定)。

移転と同時に、男女共学化、校名を「法政大学中等高等学校」と変更、そして、新たな制服の制定(一年前倒して二〇〇六年度から)等を実現します。これらの変革は本校の教学改革の象徴です。

ところで、改革には多大なエネルギーを必要とし、

と認識しています。現状を見るとまだまだ甘い部分が多く、この点を強化していかなければ、皆様が築かれた伝統の重みを軽んじるということになってしまいます。私は考えています。今年度の新入生から制服着用を義務付けるものの、精神的に解放されている自由、真実や真理を追求し肉薄できる自由、大きな夢や目標を実現できる自由は生き続けるのです。いやむしろ、さらに輝きを増すものと確信しています。

三無主義「無気力・無関心・無責任」を打破すること」の象徴として、都内の高校の中で最も早く「制服自由化」を獲得しました。そして現在までの約三十五年間、本校の自由な精神醸成に一定の任務・役割を果たしてきました。

しかし、もはや、現在は、「服装の自由化」そのこと自体に精神の躍動を集中させる時代ではありません。学校も大きく成長を遂げたのです。普遍的な課題と云ってもいい、「学問と人間性のより深い探求」にその自由の精神を徹底的に集中し発揮すべき時代に突入して

今年度の新入生から制服着用を義務付けるものの、精神的に解放されている自由、真実や真理を追求し肉薄できる自由、大きな夢や目標を実現できる自由は生き続けるのです。いやむしろ、さらに輝きを増すものと確信しています。

制服自由化当時の「現状を打破し、改革しようとした」諸先輩たちの魂が、今再び、私を、私たちを、そして学校を、改革に揺り動かしていると言ってもいいでしょう。

法政一高同窓会 平成16年度収支決算書

収入の部		(単位 円)	
科 目	項	予算額	決算額
繰越金		6,634,891	6,634,891
会 費		3,150,000	3,118,930
(イ)	入 会 金	810,000	798,000
(ロ)	新入会年会費	540,000	532,000
(ハ)	年会費・寄 附	1,600,000	1,409,930
(ニ)	その他会費	200,000	379,000
雑 収 入		200,000	34,345
繰入金		50,000	0
繰 入 金		50,000	0
計		10,034,891	9,788,166
今期収入		3,153,275	

支出の部		(単位 円)	
科 目	項	予算額	決算額
経常費		1,420,000	1,487,959
(イ)	学校協力費	600,000	422,512
(ロ)	会 議 費	180,000	207,454
(ハ)	組織活動費	200,000	300,000
(ニ)	印刷 費	20,000	0
(ホ)	通 信 費	50,000	101,625
(ヘ)	人 件 費	300,000	300,000
(ト)	事務用品費	20,000	72,523
(チ)	雑 費	50,000	83,845
事業費		1,880,000	3,679,165
(イ)	会報発行費	1,700,000	3,489,926
(ロ)	委員総会費	180,000	189,239
予備費		50,000	0
予 備 費		50,000	0
小 計		3,350,000	5,167,124
次年度繰越金		6,684,891	4,621,042
合 計		10,034,891	9,788,166
今期支出		5,167,124	

法政一高同窓会 平成17年度収支予算書

収入の部		(単位 円)	
科 目	項	予算額	内 訳
繰越金		4,621,042	
会 費		5,800,000	新入会員予定270名と既会員分(前年比1,840千円増)
(イ)	入 会 金	1,890,000	新卒業生入会金 270名×7千円 (前年比1,070千円増)
(ロ)	新入会年会費	810,000	新卒業生年会費 270名×3千円 (前年比 270千円増)
(ハ)	年会費・寄 附	2,100,000	既会員より 約700名×3千円 (前年比 500千円増)
(ニ)	その他会費	1,000,000	総会費(80万円)、役員会・委員会等出席者負担金(20万円)50名分
雑 収 入		50,000	預金利息、テレカ、名簿等売上
繰入金		50,000	
繰 入 金		50,000	
計		10,521,042	
経常収入		5,850,000	

支出の部		(単位 円)	
科 目	項	予算額	内 訳
経常費		2,120,000	
(イ)	学校協力費	900,000	新校舎募金活動、学校主催行事、生徒部活動援助、卒業生記念品、奨学金等
(ロ)	会 議 費	200,000	役員会、各委員会、名簿編集等
(ハ)	組織活動費	500,000	校友連合会年会費(30万円)、付属校合同懇親会、同窓会参加費等
(ニ)	印刷 費	20,000	決算、予算、一般会議資料の印刷費
(ホ)	通 信 費	50,000	会議開催通知、資料送付等
(ヘ)	人 件 費	300,000	事務局員手当
(ト)	事務用品費	100,000	P C等諸事務用品
(チ)	雑 費	50,000	慶弔費、振込手数料、打合会食事等
事業費		2,700,000	今後同窓会報は3月に発行してはどうか
(イ)	会報発行費	1,700,000	18年度第31号同窓会報は今年同様3月に4月新年度版として発行
(ロ)	総会、委員総会費	1,000,000	総会費(80万円)委員総会開催費(20万円)
積立金		500,000	
名簿作成費		500,000	2期6年毎に改訂版作成の為積立
予備費		50,000	
予 備 費		50,000	
小 計		5,370,000	(内、500千円は積立金)
次年度繰越金		5,151,042	
合 計		10,521,042	
経常支出		4,820,000	

創立七十周年を迎えて

副校長 吉川 司



法政大学第一中・高等学校は、二〇〇六年度創立七十周年を迎える。人間に譬えれば「古希」に相当する年齢であり、近年寿命が延びてきたとはいえ、私からすれば尊敬に値する年数である。

本校の歴史を刻む多くの同窓生の皆さんを長年にわたり卒業させてきたことを思えば、その重みをつくづく感じざるを得ない。一方、「教育は国家百年の計」と言われるように息の長い一大事業である。七十周年はまだ七つ目の一里塚を迎え、過ぎず、それを思うとまだまだ途半ばなのかも知れない。

そして、七十一年目の二〇〇七年度には三鷹市へ校地移転をし、同時に男女共学にするともに校名も改め、教育プログラムも時代に即したものに転換させる。

まさしく未来に向けたダイナミックな展開をさせようと歴史的な教学改革をしているところだと言える。

私個人も本校の周年事業には縁があつて、前回の五十周年には記念館建設や国際交流などの計画にかかわらせていただいた。今回の七十周年には「記念募金委員」の任を受け、皆様方の尊いご援助を有効に活用させていただき、新しい船出に向けた確かなフアンドを築いていければと考えているところです。

先進諸国の伝統ある私立学校はその建学の精神とともに、卒業生にしっかり支えられている基盤がある。

日本の歴史と伝統のある私学も同じである。就中、その重要な支柱根となるのは募金や寄付による確かな財政基盤の確立である。それに助成金に加わって父母負担が軽減され、親は安心して子供を入学させることができる。生徒は先輩の存在を十分に感じ、感謝しながら勉学に励むことができる。同窓会という組織の充実にもつながっていく。これが私学のあるべき理想的な姿である。

勿論そうなるためにも七十年の歴史を支え、各方面で活躍されている卒業生の皆様から愛される学校づくりをしていく努力を今後も引き続きしていかなければならないと思っている。

このたびの「創立七十周年記念募金」にご協力いただくことは、文字通り七十年の歴史の刻印となり、同時に未来の同窓生へのエールとなることを念じながら推進しているところです。

これを機会に今後も学校へのご鞭撻をより一層いただければ幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

3年生になった昭和18年の春、初めての夜行軍が行われた。夕方学校を出発して翌朝多摩川到着、水谷校長の用賀の自宅で休憩したが殆ど歩き詰めであった。私はその時、ラッパ隊に所属していたので、数名の隊員

しさを増し、本土空襲も迫ってきた。我々は3年生になって、初めての学徒動員で、東京駅前にある中央郵便局の荷捌き作業に駆り出された。期間は短かったが作業中、乾燥いもの袋が破れ零れてしまったのでそのいものを皆で食べてしまった。これが問題となり、監督として皆と一緒に来ていた御子柴先生から叱られたが、こ

と先頭を歩き引率したので眠いのも我慢して規律正しく歩いた。

その頃、戦況は一段と激



昭和19年 富士 ラッパ隊 中学3年

れで済んだと思っていた所局から我々は、この仕事は不向きであるとして断られてしまった。所謂、くびである。食料難のこの時代、腹の空く少年達が口にした芋の味は今でも忘れられない。

教練の成果を軍がテストする査閲が毎年行われる。我々は昭和17年と18年の2回、代々木練兵場(現在のNHKのある代々木公園)で行った。当校は、以前から優れていたもので、我々の時も問題なく「優秀」の採点を戴いた。尚、ラッパ隊は査閲には参加せず、同行はしてもラッパの練習だけをさせられていた。

昭和18年の秋、富士の裾野の演習場に1年生の教練の為、3年生のラッパ隊員数名が指導者として同行した。その頃は、まだ学校での授業はどうか続けており、寺本先生は我々ラッパ隊員が訓練に同行することを凄く嫌った。先生は、反戦主義者であり軍人はあま

り好きでなかった。ラッパ隊は、間もなく新たに編成された軍楽隊(現在の吹奏楽又はブラスバンド)に編入させられた。

大橋莊二先生が両方を指導されていたので、編入はスムーズに行われた。隊に入ってから、トランペット、サクソフ、クラリネット、小太鼓など何でも一通り教わった。隊員のリーダーは辻先輩で、戦後プロとして活躍したと聞いている。

昭和19年4月、ついに学窓を離れ、一年の長期動員へと駆り出されて行った。

4年生になったばかりの時であった。動員先は、錦糸町にある時計メーカーの精工舎第一工場である。大きな工場で我々は分散して配置された。

此処には、我々の他、男子校1校と女子校3校が動員されていた。製品は、主に高射砲の真管を旋盤で造る作業だった。

我々は、すぐ隣にある錦糸公園に毎朝他校の学生と共に集合し、朝礼の後隊列を組んで入構した。

(次号に続く)

旧中6・3

吉田 昭典 記

昭和80年！戦後60年！喜寿77歳！ 2005年人生の節目に憶いを起こす 戦時下の4年間を歩んだ旧制中学生の記録

第二回

水泳部

今年は、中学・高校あわせて二十八人の部員がいます。高校生は一人、中学生は九人が所属しています。いつもの年に比べて多くの部員がいます。水泳部は、中学生も高校生も一緒に部活動を行っています。どうしても、中学生と高校生には体力に差があるものの、日々練習についてきています。

水泳部は一月～四月は屋外プールのため、活動が出来なくなります。しかし、高校生を中心に、工夫しながら日々練習しています。この時期は、夏のシーズンになった時にタイムが伸びるように、体作りの練習をしています。主な練習は筋肉トレーニングです。水泳で使う筋肉の増強をしています。みんな数えたり、声を出したりすることで部活のまとまった雰囲気

を少しずつ作っています。また、筋肉トレーニングだけでなく、グループに別れて近くの市民プールに行つて練習しています。これは、水泳の感覚を忘れないために行っています。そして、四月下旬頃にプール掃除を

して、泳ぎこむシーズンになっていきます。

昨年は高校では三多摩大会で入賞するなど力も徐々についてきていると思います。中学生も、人数が少し少ないもののよくがんばっていると思います。

この部活は、上下関係が他の部活に比べて、少ないので中学生と高校生がしゃべることも日常よくあります。また練習のときも、お互いのトレーニングの補助や、夏では飛び込みや泳ぎの方のアドバイスをしたりして、仲良く練習も先輩・後輩関係も充実していて部活をとても楽しい雰囲気で作っています。

今年は、今まで以上の結果を残したいと常日頃から考え練習しています。法政一中高水泳部の更なる飛躍をお見せできるようにがんばります。

(部長 川杉 章太郎)

弓道部

弓道部は、一九六一年の創部以来、今年で四五周年を迎えました。この間、合計で一〇〇名を超えています。この秋には、四五周年

(念の会合を開催する方向で準備を進めています(これをご覧のOBの方々は、ぜひご一報下さい))

HOSEI

だより

一中・一高・校内情報

を生んでいると卒業生は言います。

現在、高校二年生が三名、高校一年生が五名の合計八名のみですが、少人数ゆえに結束は固く、上下の区別なく楽しく活動しています。夏には、長野県南佐久郡小海町の松原湖で合宿を行っています。

高体連弓道専門部主催の大会には参加していますが、ここ数年はなかなか良い結果には結びつかずにいます。第一次予選突破が当面の目標です。

(顧問 牛田 守彦)

ギター部

ギター部では、生徒の自主性を尊重し、自律心を育てながら、部としてのまとまりを作り出す協調性やマナーを身につけることを目標に週6日、楽器演奏(バンド活動)とオリジナル曲の制作を中心に活動しています。具体的には、部員達がそれぞれがバンドを組み、ボーカル・ギター・ベース・ドラムなどの練習をしています。また、週に1回はミーティングをおこない、団結力のある部活作りを目指し、日頃の練習の成果をライブ

やコンテストで発揮して、「自分たちはもちろんお客さんにも楽しんでいただく！」という目標を持って活動しています。

今年度は3年生のバンド「哀愁ブーメラン」がヤマハ主催の「TEEN'S MUSIC FESTIVAL」高校対抗バンド合戦の決勝に進出したり、「RED ZONE」が東京都児童会館(渋谷区)が主催した「ヤングサウンドフェスティバル'05」において、グランプリの栄冠に輝きました。ギター部は夏合宿で作っていますが、その成果が結実しての優勝となりました。

ギター部では、部全体のライブを年5回行い(場所は4F音楽室A)、バンド単位でこのようなコンテストに積極的に参加しています。今後も他校との合同ライブを行ったり、幅の広い活動が出来ればと思っています。これからのギター部の活躍にご期待ください。また、お気軽にライブに御来場頂き、部員達の熱い演奏に応援をよろしく願います!

(顧問 小出 伸)



山岳部

山岳部は現在、週3回の活動を行っている、主にランニングなどの筋力トレーニングをしています。そして、体力向上や合宿の予行演習をかねて、四季折々の自然を楽しみながら、だいたい月1回のペースで山に登っています。土・日を使って行くことが多いので、山域は近場の奥多摩や、丹沢などが主流です。また、夏休みや冬休みなどの、長期的な休みなどには、日頃の活動の成果を発揮し、確認する意味で合宿を行います。

合宿ではやりごたえのある山城を選び、今年は白馬岳などがある北アルプスに5泊6日の日程で行きました。険しい山が多く、天候も悪かったので大変な合宿でしたが、やりきった後の達成感は今までにないものでした。また、冬にも合宿に行きました。今年の冬は豪雪でしたが、運良く冬晴れに恵まれ、まさに「白銀の世界」を味わいました。これらの合宿で私たちは、肉体的・精神的にも、チームとしても一回り大きくなった気がしました。

活動を通して、チームと



して行動する難しさやすばらしさを感じ、社会のルールやマナー、また、一人でも自立できる技術を学び、そして山岳部を「一度やり始めたことは、投げ出さずに努力しやり通す」という精神を培う場所としたいと思います。

(部長 馬場 亮)

ソフトテニス部

法政一高ソフトテニス部は、戦前に創部され、戦後活動を復活してから二〇〇三年で五十周年をむかえました。今年(二〇〇五年)

度の部員数は、三年生二十

四名、二年生十九名、一年

生十名で合計五十三名です。

ここ数年は部員数が多く毎

年四〜五十名で活動してい

ます。校内にあるテニスコー

ト(二面)が活動場所で、

普段は週三回練習を行って

いますが、春と夏には合宿

も行っています。三年生は、

毎年八月上旬に実施される

東京六大学付属高校の大会

を引退試合とし、夏休み後

半以降は、一・二年生のみ

の活動となります。

ここ数年、大会での目立っ

た成績はありませんでした

が、今年度は春の高体連の

大会で東京都ベスト三十二(個人)に入り、関東大会出場まであと一步のところまでせまったり、東京六大学付属高校大会で準優勝(個人)するなど近年にない成績を残しました。さらに、三年生が引退した秋以降も、七年ぶりにインドア大会(団体・都ベスト十六)に出場するなどの成績を残しています。

現在、新入生を迎える準備と、四月以降の試合でもベストが尽くせるように、春合宿を中心とした春休み中の練習内容の検討を行っています。

「祝法政大学箱根駅伝優勝」の横断幕(懸垂幕)の寄贈がすぐに決まった。勝利に向かって決してあきらめない「法政魂」を少しでも伝えることが出来るならばと思った。

近年の法政旋風、東京六大学野球優勝、アメリカンフットボール大学日本一、箱根駅伝優勝と、輝かしい活躍で同窓会会員としても喜ばしい限りである。

現在は、新入生を迎える準備と、四月以降の試合でもベストが尽くせるように、春合宿を中心とした春休み中の練習内容の検討を行っています。

現在は、新入生を迎える準備と、四月以降の試合でもベストが尽くせるように、春合宿を中心とした春休み中の練習内容の検討を行っています。

現在は、新入生を迎える準備と、四月以降の試合でもベストが尽くせるように、春合宿を中心とした春休み中の練習内容の検討を行っています。

現在は、新入生を迎える準備と、四月以降の試合でもベストが尽くせるように、春合宿を中心とした春休み中の練習内容の検討を行っています。

法政大学

復路優勝

(顧問 上原 伸一)

本年1月3日、第82回箱根駅伝復路応援のため、法政付属校三校と二高育友会のメンバーが34名ほど、横浜急戸部駅前に集まった。目の前の国道1号線が直線

本年1月3日、第82回箱根駅伝復路応援のため、法政付属校三校と二高育友会のメンバーが34名ほど、横浜急戸部駅前に集まった。目の前の国道1号線が直線

本年1月3日、第82回箱根駅伝復路応援のため、法政付属校三校と二高育友会のメンバーが34名ほど、横浜急戸部駅前に集まった。目の前の国道1号線が直線

本年1月3日、第82回箱根駅伝復路応援のため、法政付属校三校と二高育友会のメンバーが34名ほど、横浜急戸部駅前に集まった。目の前の国道1号線が直線



シリーズ
活躍する一高OB [7]映画等の小道具企業
南 孝二 社長

の大きさに圧倒された。道具の博物館も併設されている。私達が普段、映画やテレビ、舞台等で見ている人物の脇にある家財、道具類が全てレンタルであると認識、これからは見る目が変わると思った。

(高19期 今泉 直樹 記)

教職員人事異動

運営委員

古家 敏亮

専任教員退職者

今村忠義先生(体育科)

一九六五年に本校専任教員として着任されました。この間、ご専門の体育教育に尽力されるとともに、クラス担任、行事の責任者として活躍されました。また、長く中・高ラグビー部の部長および監督を務められ、関東大会への出場をはじめ、ニュージランドの姉妹校締結を実現され、国際交流においても大きな足跡を残されました。

特別教諭退職者
福田将行先生(英語科)

二〇〇四年に本校初の特別教諭として着任されました。この間、ご専門の英語教育に尽力されるとともに、生徒委員会や高校バスケットボール部顧問として活躍され、本校発展に寄与されました。

専任教諭(新任)

山田耕太先生(社会科)

二〇〇四年一橋大学大学院社会学研究科修士課程を修了し、本年四月より社会科専任教員として着任されます。拓大一高で、非常勤講師を務めてこられました。

石沢直人先生(情報科)

二〇〇〇年城西大学経済学部経済学科を卒業し、本年四月より情報科専任教員として着任されます。東亜学園高校他で、非常勤講師を務めてこられました。

三田野乃花先生(英語科)

二〇〇五年国際基督教大学教養学部教育学科を卒業し、本年四月より英語科専任教員として着任されます。小学校よりインターナショナルスクールに通われていました。

特別教諭(新任)

伊藤文郎先生(英語科)

一九九三年慶應義塾大学文学部文学科を卒業し、本年四月より英語科特別教諭として着任されます。二〇〇三年より本校英語科非常勤講師を務めてこられました。

専任職員の異動

河野良治さん

二〇〇二年十一月より、学務係として勤務していただきました。四月より二中高事務局に異動されます。

第八回ホーム

カミングデーと
一中高の現況報告

運営委員

牛田 守彦

昨年十一月二十六日(土)、本校記念会館において、第八回ホームカミングデーを開催いたしました。今回は下一桁に2および7のつく卒業期の同窓生の皆さま、並びに旧教職員の皆さまをお招きいたしました。参加者は、現役教職員を含め一〇〇名を越え、盛況でした。

第一部の式典では、コンピュータ・グラフィックスによる新校地・施設のイメージビデオを上映した後、森田勉学校長が、二〇〇七年度に移転、共学校として開校する「法政大学中学高等学校」の概要を、パワー

ポイントを用いながら説明いたしました。その後、旧教職員の先生方の紹介を行いました。

第二部の懇親会は、記念会館会議室に会場を移し和気藹々と終始和やかに、互いに旧交を温め合うとともに新たな結びつきを生み出す場となりました。最後には、声を合わせて校歌を唱って締め括りました。

なお、本年より、開催日を土曜日といたしましたことをこの場を借りてお知らせいたします(次年度は、下一桁に3および8のつく卒業期の同窓生をお招きする予定です。ご予定下さい。)

さて、一中高の現況ですが、クラブ活動では、本年もゴルフ部、スキー部、アイスホッケー部が関東大会に出場したのを始め、ギター部が東京都児童館主催の大会でグランプリの栄冠に輝くなど活躍が目立ちました。最後に、一中高は、本年創立七〇周年を迎えます。この記念すべき年は、翌年の移転・共学化に向けての諸改革を進める年ともなります。同窓生の皆さま方におかれましては、物心両面での母校へのご支援をお願いし、報告を終わります。

スクールバック

高37期 萩原 光博

渋谷の駅で女子高校生が、「H O S E I」と書いてあるスクールバックを持っているのを見かけて不思議に思っておりまして。周りに聞いてみると「ここ数年、H O S E Iバックは超人気」とのこと。イマイチ実感できず、都内の女子高に通う知人の娘さんに聞いてみるとやはり「H O S E Iバックは一番人気で欲しいのだけれど、手に入らない」とのこと。どうも気になって、イロイロと調べてみると、普段は接触の無い現代の高校生達の意外な「流行」があるように・・・。

インターネットで検索すると、「H O S E Iバックが欲しい!誰か譲って下さい!」「H O S E Iバックは何処で買えるのですか」等の書き込みがたくさんありました。何処で買えるのかといえば、「学校の生協だろう」とは思ったものの、やはりというか「ネット」で業者らしき販売者と「オークション」にも出ていました。しかも「本物」とまで書いてあったりする始末で、どうやらニセモノまで出回っていたようです。

そして何故か流行っている「H O S E Iバック」は、我が「法政一高」のモノではなく、「法政二高」のモノではないように見えたのは私の感覚が若くないかも知れませんが・・・。

でも法政一高の生協で聞いてみると、やはり一時は物凄く「スクールバック」は売れたようで、ここ最近では生徒以外買えないようになったのだいぶ落ち着いているとの事でした。法政二高にしてもやはり同じように生徒にしか販売していないようです。

その時代に「流行」はイロイロとありますが、まさか他の学校の「スクールバック」を持つコトが流行るとは思っていませんでした。



第十八回同窓会総会

総会準備委員長

高6期 佐藤 俊男

第十八回同窓会総会は、平成十七年四月十日午前十一時から法政大学市ヶ谷校舎、ボアソナー・ドタワー二十六階A会議室にて会員百二十名の出席にて開催されました。

大石同窓会会長、森田・一中高校長の挨拶の後、議事に入りました。平成十六年度の事業報告、同年決算案、同年会計監査報告があり承認されました。

引き続き平成十七年度の事業計画案、同予算案、規約細則改定案、役員改選の四件が提議され、それぞれ承認されました。

懇親会は、同タワー二十六階スカイホールにて午後十二時三十分より開宴しました。小川純一郎先生(元・一中高校長)より祝辞をいただき、中村雅明先輩(旧・中一期卒)の乾杯で懇親会が始まりました。今回特別出演として、ザ・法政ボーイズの皆

様による(高校五期卒、中島、神谷、寺澤、深澤、横山)ハワイアンメロディー等、二十曲の演奏をいただき大盛況となりました。

松永伶一先生の甲子園出場のお話、ラクビー部OB会会長横山勝矢氏よりラクビー部の近況報告等いただき大いに懇親会が盛り上がりしました。

法政大学第八十代、桜井直人応援団・団長による指揮のもと校歌斉唱を行い閉会しました。

総会終了後、満開の桜を眺めながら三々五々旧交を暖めに二次会にいかれた様子です。

最後に、今総会・懇親会開催に当たり、皆様からいろいろご指導を頂き又、当日は、早朝より大石同窓会会長をはじめ役員の皆様にご協力をお願いし誠に有難う御座います。御礼申し上げます。

H O S E I

同窓会クラス委員総会開催のお知らせ
平成十八年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。是非、出席をお願い致します。

日時 平成十八年六月七日(水曜日)
午後六時三十分開会
場所 法政大学市ヶ谷校舎ボアソナー・ドタワー
二十六階A会議室
会費 三千円(当日受付・軽食用意します)
◎高校卒業後、四年以内のクラス委員は無料

議題

平成十七年度事業報告
平成十七年度決算案の件
平成十八年度事業計画
平成十八年度予算案の件
その他

◎委員の方は、出・欠を同封のハガキにて、五月二十三日(火曜日)必着にてご投函願います。

同窓会(第58期)クラス委員一覧

1組	石黒 嘉嗣
2組	阪口 誠
3組	寺島 伸幸
4組	三浦 秀明
5組	◎宇山 礼央
6組	志満津昌臣
	窪田 翔太
	小山 良平
	木地山和樹
	原田 大輔
	門 宏昭
	吉川 遥

◎は学年代表

編集後記

突然の手塚氏からの指名で、同窓会会報の編集をする事になりました。慣れない作業の過程で、何回か原稿と写真の割付の変更を行いながら、このような紙面になりました。皆様方からの批評をお願いいたします。来年の新校舎竣工に向けて、同窓会も協力して行きますよう。

広報委員長代行
高19期 今泉 直樹